



伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第2628回例会

2020.11.17(火) 於 サンバレー富士見

2020-21

RI 会長 木が・ケケ ガバナー 志田 洪顯
会長 土屋 雄三 幹事 土田 哲
会報委員会 兵藤 弘昭・木内 昭夫 望月 隆一

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境ビル 2F
TEL (055) 976-6351 FAX (055) 976-6352
例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1
TEL (055) 947-3100 FAX (055) 947-0564

URL www.izuchuo-rc.org

写真： 柿田川（伊豆半島ジオパーク）

会長挨拶

会長 土屋雄三



今年は、何といても未だ終息が見えないコロナ色OfYearでした。生活も人の移動もまた仕事においても今までの常識が通じない環境の変化に対応するのが大変だったと思います。そのような中、伊豆中央 RC にとって大変大事な周年の年に当たってしまいましたことは誠に残念に尽きると思います。

今回の周年事業を、このような縮小開催にさせて頂いたことに対し、歴代会長並びにメンバーの皆様、そして、今まで当クラブに関係された沢山の方々、及び OB 会員に対しまして深くお詫び申し上げます。そして、今までのご厚情に感謝申し上げる次第でございます。歴史を紐解きますと当クラブは、1965年11月27日三島ロータリークラブをスポンサーとして当クラブの前身、伊豆長岡ロータリークラブとして誕生いたしました。それ以来、55年の長きに渡り、青少年の健全育成、地域社会の多様なニーズに対して奉仕の理想を求め実践してまいりました。一時は最大時65名のメンバーがおりましたが、日本のロータリーメンバーの減少と同じように、近年、地域の人口減少と社会経済情勢また、産業構造の変化に伴い会員数の減少がおきているのが現状です。しかしながら、一時の数的力は半減してはいるものの、ベテランのメンバーと新しく入られた会員の融合により志を同じくする会員個々が、地域社会に対し奉仕の理想、理念のもと、力つよくロータリアンの活動を継続していることに改めて感謝しているところで御座います。さらに我がクラブの先輩方が築き上げてきた55年間の伝統と歴史に敬意を表しながら、これから60周年に向かい、時代に適した形を作ることが、私たちの責務であると感じているところです。最後に、今日、この地域のクラスター発生に細心の注意をしながらの懇親会になりますが、皆さん袖振り合って楽しい時間を過ごして頂き、会員相互の友情と絆を深めていただきたいと思います。宜しくお願い致します。55周年という節目の年に、今回の規定審査会の改訂に合わせ、私たち伊豆中央 RC も定款細則、内規の改正を提言し、理事会を通過し承認されました。来週の例会時においてさらに協議したいと思っております。「ダーウィンは最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残ることができるのは変化できる者である」このような一言もぜひ参考にしていただけたらと私は感じております。ご理解とご協力をお願い致します。

出席報告

出席委員長 望月隆一

	出席総数	出席率	会員総数
今回	21/26名	84.00%	26名

歴代会長挨拶



懇親会様子



木内会員 乾杯挨拶



スマイル報告

●飯田晃司名誉会員

お久しぶりです。元気です。55周年おめでとうございます。今後もよろしくお願い致します。

●長友範充がバナー補佐、山口和弘会員、小野信会員、竹村淳一郎会員、飯田鍵吾会員

55周年おめでとうございます。これからも頑張りましょう。

●雨宮演邦パスト会長

心よりお喜び申し上げます。おめでとうございます。

●土田哲幹事、石井政一会員

歴代会長の皆様。これからもご指導のほどよろしくお願い申し上げます。本日はおめでとうございます。

●竹村淳一郎会員

無事孫が生まれました。安堵いたしました。

— (本日のスマイル合計 ¥16,000)